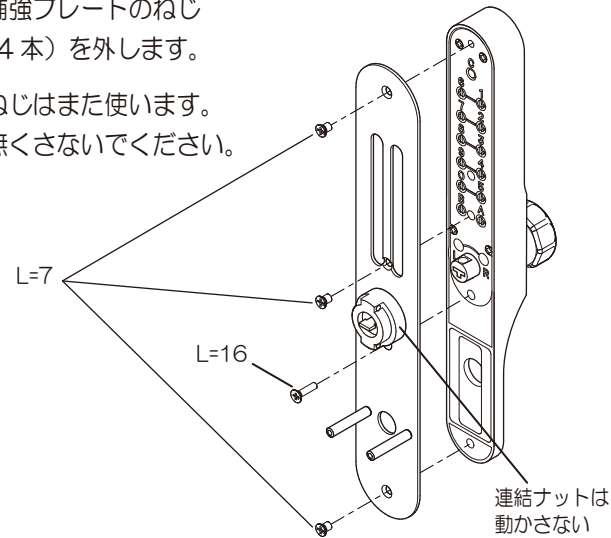


左吊元時の変更と確認

【１】キーレックス本体と補強プレートをはずす

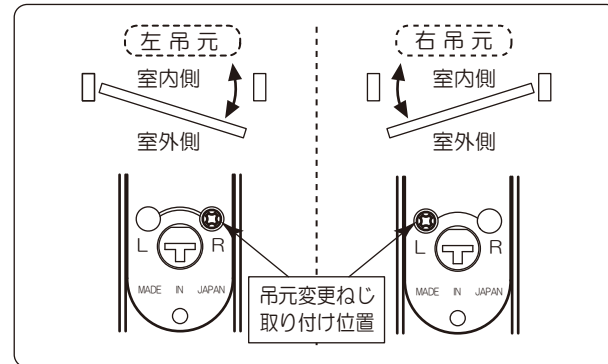
補強プレートのねじ
(4本)を外します。

ねじはまた使います。
無くさないでください。



【２】吊元変更ねじを入れ替えて、補強プレートを取り付ける

- ① 図のようにキーレックス本体ウラ側の吊元変更ねじを入れ替えます。
- ② キーレックス本体と補強プレートを【1】と逆に取り付けます。取付ねじの位置に注意してください。



記憶番号設定に関するご注意

- KL700 は 1 ～ 12 桁まで任意の記憶番号を設定できます。
- ボタンを押す順番は自由です。順番は関係ありません。
例) 記憶番号 1・2・3 の場合
1・2・3 と押しても 2・3・1 3・1・2 1・3・2 と押しても解錠できます。
- 1 つのボタンにつき設定は 1 回だけです。 (同じボタンを 2 度押しする設定はできません)
例) 1・1・2・3 や 1・2・2・3 の設定はできません。

注意 危険防止の為に以下をお読みください

- 取付ねじのゆるみ
 - 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為に定期的に増し締めしてください。
- 受座の飛び出し
 - 受座の飛び出しが大きい場合、体を傷つけたり、衣服を引っ掛けるおそれがありますので、取付業者に依頼して適正な受座に取り替えてください。
- 他の用途への使用
 - ロックターンにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。
- ◆ 操作上の注意 (故障の原因となります)
 - 製品の分解、改造はしないでください。
 - テッドラッチ、テッドボルトを突出させた状態で扉を閉めないでください。
 - ボタンを押しながら、ロックターンの操作をしないでください。
- ◆ 永くご使用頂くために
 - 錠ケースへの潤滑材使用はさけてください。
 - 表面の手入れは柔らかな布でから拭きしてください。汚れのひどい場合は、中性洗剤を使用してください。

ドアの吊り下がり、扉の開閉速度、丁番の具合など異常がありましたら専門の業者にご相談ください。

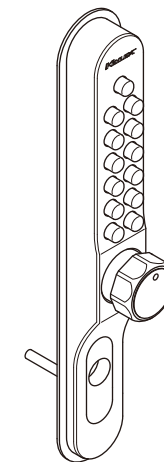
7273465

KEYLEX[®] 700

KL700 Mr-I・II
MIWA LA 対応取替錠

取扱説明書 (施主様向)

このたびは、当社製品のお買い上げ、ありがとうございます。本取扱説明書は、施主様、又はご入居者にお渡しください。
この説明書は必ずお読みの上、保管してください。



22277
22278

防犯上、定期的に記憶番号の変更をされますようおすすめ致します。

〈 記 憶 番 号 の 記 録 〉		
年	月	日
年	月	日
年	月	日
年	月	日
年	月	日
ただ今の記憶番号		

NAGA
SAWA

株 式 会 社 長 沢 製 作 所

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) 福岡出張所 TEL. 092-524-7031 (代)
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032
大阪支店 TEL. 06-6783-5091
FAX. 06-6783-5092

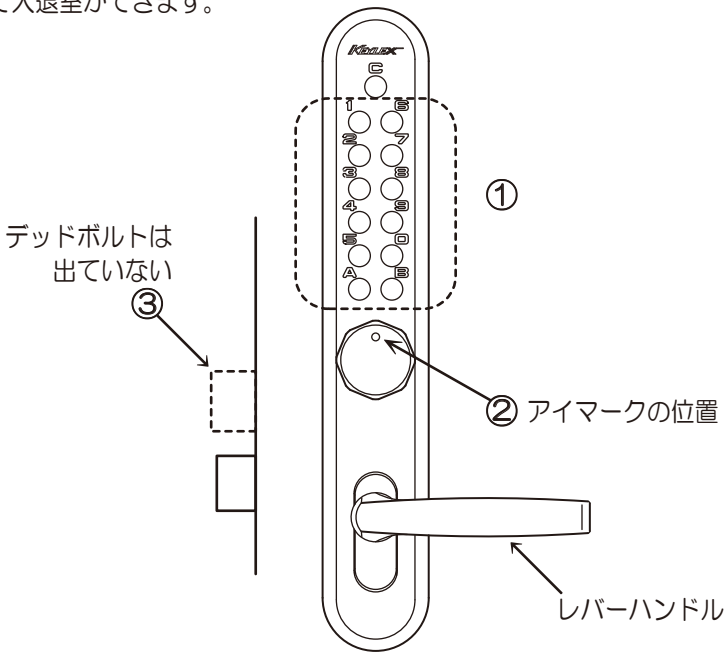
基本操作

施錠されていない場合は、レバーハンドル操作のみで入退室ができます。
施解錠は鍵操作がボタン操作になります。

ご使用前に確認してください。

- ① 登録している記憶番号
- ② ロックターンのアイマークが
図の位置（真上）にある
- ③ デッドボルトが錠に収まっている

※ 図は右吊元仕様です



室内側

室外側

施錠

- ① サムターンを丁番側に 90° 回す
- ② デッドボルトが出て、施錠されます

解錠

- ① サムターンを戸先側に 90° 回す
- ② デッドボルトが収まり、解錠されます

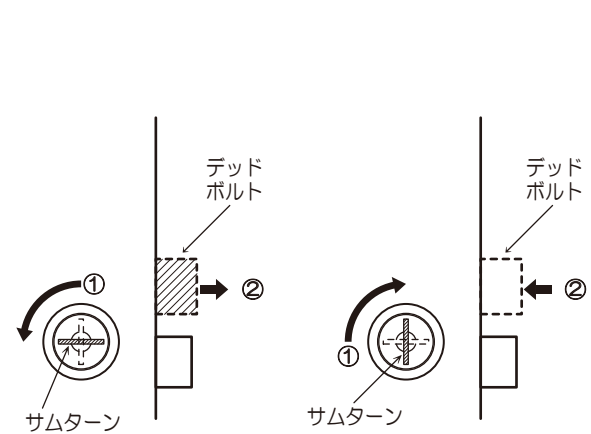
施錠

- ① ロックターンを丁番側に 90° 回す
- ② デッドボルトが出て、施錠されます

解錠

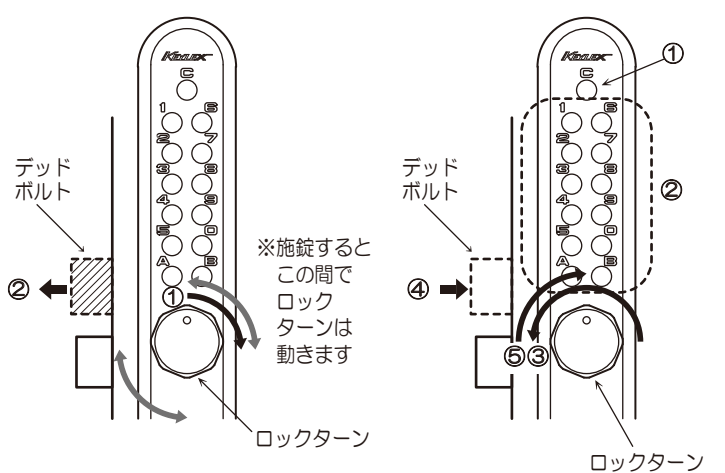
- ① C ボタンを押してください。
誤操作の記憶番号が解除されます
- ② 正しい記憶番号を押します
- ③ ロックターンを戸先側に回しきります
（アイマーク：ヨコになる）
- ④ デッドボルトが収まり、解錠されます
- ⑤ ロックターンを 90° 元に戻します（アイマーク：ヨコータテ）

施錠



解錠

施錠



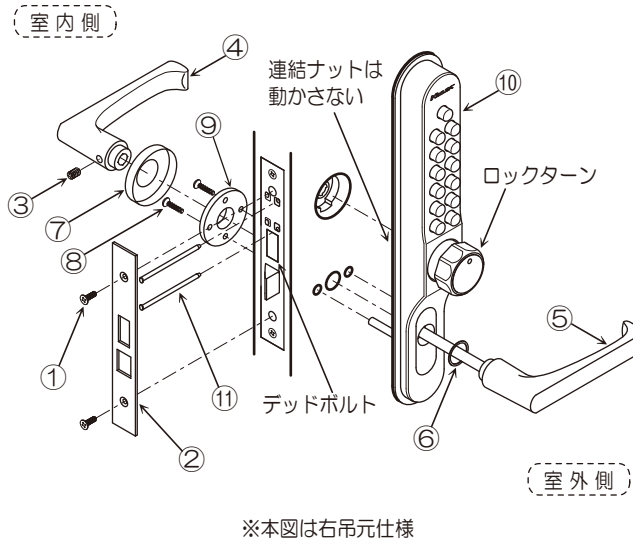
※ 本図は右吊元仕様です。左吊元時は対称です。

記憶番号の変更手順

7273465

【１】キーレックス本体を取り外します

錠のデッドボルトが収まっている状態で取り外します。
取り外した部材は全て使います。紛失しないようご注意ください。

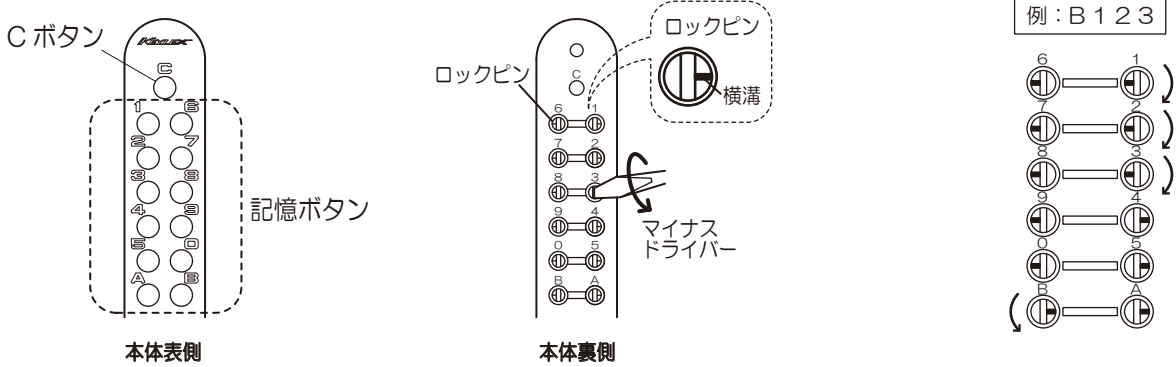


- I：①フロント板固定ねじをはずし、②フロント板をはずします。
- II：③レバー固定ねじをはずし、④⑤レバーを抜き取ります。
⑥リングスペーサをなくさないでください。
- III：⑦座カバーをはずします（ねじ込み式は回転させ、
はめ込み式はΘドライバーではずします）。
- IV：⑧補強座固定ねじをはずし、⑨補強座をはずします。
- V：⑩キーレックス本体の落下に注意しながら、⑪シリンダー
固定ピン 2 本をΘドライバーで抜き取り、⑩キーレックス
本体を取り外します。
⑩キーレックス本体裏側の連結ナットが動かないように
取り外してください。

【２】記憶番号の設定変更をします

- ① 本体表側の **C ボタン** を押します。 ② 本体を裏向きにし、記憶されている
⑤まで、記憶ボタンは押さないで
ロックピンを回転させ
ください。（右側は左回転，左側は右回転で
ロックピンの横溝を外向きにする）
- ③ 新規に記憶する番号を必ず記録します。
本紙 1 ページに記入欄があります。
- ④ 新しい記憶番号のロックピン横溝を
中央部の横溝にあわせませう。

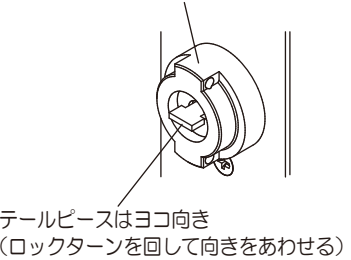
※ C ボタンを押さないと、内部部品が破損する
場合があります。必ず押してください。



- ⑤ C ボタン＋新しい記憶番号を押し、レバーハンドルが解錠方向に回ることを確認します。 **基本操作** 室外側欄を参照します。

【３】本体を取り付けます

連結ナットは必ずタテ向き



【１】と逆の順番で取り付けます。

キーレックス本体を錠にセットする際、キーレックス本体ウラ面の連結ナットが
動かないようにしながら、テールピースの向き、錠の解錠状態（デッドボルトが
出ていない）を確認し、取り付けてください。

補強座を取り付けるときは、レバーを仮嵌めして位置決めをします。

左の基本操作に沿って、作動確認をして完了です。
正しく作動しない場合は、記憶番号と吊元変更ねじの確認をしてください。